



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2021年 10月号 (第63号)

今月のことば

「迷いや苦しみを経験するからこそ、人は成長します。」
 塩尻亮潤著(大阿闍梨:奈良県吉野、金峯山修験本宗)
 (深尾香子選)

2021~2022年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「楽しさをシェアしよう！」

東新部部長 松香光夫(東京町田コスモス)

「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは 次の世代のために 何ができるか？」

アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)「100年を越えて変革しよう」

国際会長 キム・サンチェ(韓国)「世界とともにワイズメン」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 直前会長 深尾香子

書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です。)

今月の強調テーマ: YIA (Youth Involvement & Activities 若者の参画・活動)、TW22 (Towards 2022: 2022年に向けて)

10月3クラブ合同例会プログラム

東京町田コスモス・東京町田スマイリング・東京多摩みなみ

日時: 10月16日(土) 18:30~20:00

会場: ZoomによるWEB開催

司会: ホスト東京町田スマイリングクラブ

- *開会点鐘 為我井輝忠会長
- *ワイズソング
- *今月の聖句
- *ゲスト/ビジター紹介 為我井会長
- *ホストクラブ会長挨拶 為我井会長
- *東京町田コスモス・東京多摩みなみクラブ会長挨拶
- *東新部部長挨拶 松香光夫部長
- *参加者全員から自己紹介・ひとこと
- *「部大会を振り返って」太田勝人実行委員長他
- *YMCA ニュース・各種アピール
- *ハッピーバースデー
- *閉会点鐘 為我井会長

(合同例会のため、若干変更の場合もあります)

10月のHappy Birthday

綿引康司さん (10月14日)

【巻頭言】「YMCA 記念日に寄せて」

10月11日は、YMCAの創設者である、ジョージ・ウィリアムズの誕生日です。この日は「YMCA 記念日」として、世界中のYMCA、YMCAに繋がる人々が、彼が成したことを想い起し、YMCA運動への思いを新たにす日です。産業革命たけなわのロンドンの婦人服店で働く彼は、劣悪な環境で働く青少年のための祈祷会、聖書研究会を主宰し、労務改善運動の指導者となり、1844年6月6日、12名の青年の参加によって、キリスト教青年会「YMCA」が誕生したのです。そのとき彼は、22歳でした。

日本で初めてのYMCAは、1880年に東京にて青年牧師たちによって誕生しましたが、初代の会長の小崎弘道は、当時24歳でした。

一方、1920年に初めてのワイズメンズクラブを組織し、来年100周年を迎えるワイズメンズクラブ国際協会を1922年に設立した、ポール・ウィリアム・アレキサンダーも当時、34歳の若い法律家でした。また、日本初のワイズメンズクラブである大阪クラブを設立した奈良傳大阪YMCA主事もそのとき27歳でした。

今月は「2022年に向けて」と「YIA」(Youth Involvement & Activities(若者の参画・活動))の強調月間です。私たちの組織を、原点である、若い人たちによる活力のある組織にどのように変えていくかを考える良い機会だと思います。(田中博之)

9月例会	在籍10名 (内広義会員1名) 例会出席13名	出席内訳	メンバー	BF		ファンド			
			7名	切手	g(今年度累計)	g)	オークション	0円	
			メーキャップ	0名	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計)	0円)	
			出席率	78%	ぼんぼこファンド		0円	スマイル	0円
			メネット	0名	(今年度累計)		0円)	(今年度累計)	0円)
			ゲスト・ビジター	6名					

9月例会報告

9月7日(火)、当クラブの9月例会がZoomにて開催されました。

今月は、ゲストスピーカーに元東京YMCA西東京センターのリーダーの松井耀一郎さんを招いての例会でした。松井さんは、大学1年の夏から4年間、西東京センターでリーダーを務め、リーダー達の中核となって活躍され、昨年度の東京YMCAの「ユースボランティアオブザイヤー」を受賞されました。今年の春に卒業後は、名古屋でご実家の事業に携わっています。

スピーチのタイトルは、「仲間達と過ごした4年間」で、がんばったこと、楽しかったこと、苦しかったこと、後輩に伝えたいこと、将来の夢などを語っていただきました。ワイズに伝えたいこととしては、「これからもリーダー達と一緒に活動を行っていただき、YMCAの働きに厚み、深みをもたらせていただきたい。」と述べられ、「今でもYMCAが好きで、これからもOBとしてYMCAを支えていきたい、メンバー(キャンプ等のプログラム参加者)からリーダー



になる者が増えることを期待している。」と締めくくられました。

ゲストスピーチの後には、各チームの報告、YMCA報告が行われ、ビジターの方々を含め全員から「ひとことスピーチ」をいただき、また、太田東新部大会実行委員長からは週末に開催される部大会のアピールがあり、定刻に閉会となりました。西東京センターのサポーターである東京八王子クラブから多くのビジター参加がありました。(田中記)

《出席者》13名：「メンバー」：石田、伊藤、小野、田中、深尾、藤田、綿引、「ビジター」太田勝人(東京町田スマイリング)、久保田貞視、中里敦、長谷川あやこ、山本英次(東京八王子)

9月第2例会(運営会議)報告

9月13日(月)19:00から、Zoomで9月の第2例会が開催されました。9月例会、東新部大会の振り返り、会計報告、ワイズナイトフォーラム、ぼんぼこ農園、プランター講座、東京YMCA国際チャリティラン等の情報共有等が行われました。協議事項としては、静岡YMCA・熱海土砂災害募金にクラブとして2万円拠出すること、ご家庭の事情で退会の申し出があった安藤さんの退会を承認し、休会扱いとしてクラブとの繋がりを持ち続けていただきたいことを伝えること等が決定されました。

(田中記)

《出席者》5名：石田、伊藤、小野、田中、深尾、綿引

10月3クラブ合同例会に寄せて

ホスト

東京町田スマイリングクラブ会長 為我井輝忠

8月に多摩みなみクラブがホストとして合同例会が開催されました。2か月後の今回は10月16日(土)我がスマイリングが担当する合同例会です。前回のプログラムを参考にして計画



していますが、何分にも力不足のため大したことは出来ないと思いつつ、2クラブのご協力を得て頑張りたいと思います。合同例会は単独のクラブでは出来ないことを他のクラブの支援の下で開催出来るメリットと共に各地域のプログラムや取り組み等を知り、十分参考になることが多々あります。

秋の夜長をZoomではありますが、今回は先の東新部大会の総括、喫緊のこと、今後のこと等忌憚のない意見を開陳できれば幸いです。ご参加のほどお待ちしております。

東京YMCAチャリティーランのご案内

今年度は、第35回目の国際チャリティランです。コロナ禍の昨年度と同様に、今回もスマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催されます。当クラブは、東京武蔵野多摩クラブ、東京八王子クラブとの合同チームとしてエントリーします。当クラブからのチームエントリーは石田孝次さんと田中博之さんです。個人エントリーは綿引康司さんです。このイベントは、YMCAが行う、障がい児(者)のプログラム支援のためのファンド作りのために開催されます。

個人参加：10月16日～22日

チーム参加：10月23日～31日 (伊藤記)

「東日本区CS・Yサ事業主任」として

9月度報告：深尾香子

8月末に終えたCS・Yサ事業委員会は、各部の主査の他、部長の陪席のもと、アイスブレイクから始めて、和やかに実施出来ました。昨年に続き、オンラインのみの研修では、残念ながら、主査としての役割をこの段階で改めて確認する作業から始まります。そこで、主任方針から、①昨年を振り返り、②次への工夫を行って、③新たに歩んで頂きたい、とお伝えし、逆に各部のYMCA事業、地域貢献事業は、多くが中止され、自分たちも支援の方法を見い出せない場面が多かったとお話いただきました。これらは、9月～11月に開催される「部大会」「評議会」の場で、報告されて全てのクラブ員に周知される予定です。1クラブ内で悩むのではなく、こうして共有することは、お互いの安心と自信につながります。次は第2段階として、コロナ禍での事業の復活について、YMCAの中期計画(3カ年)を加味して、各部で工夫して下さる事を期待します。

部大会の報告

9/11(土)13:30 からコロナ感染回避を優先してオンライン (Zoom) で開催されました。参加者は70名、当クラブからは石田、田中、深尾、綿引、伊藤の5名でした。第1部「学びと研鑽」では、松香部長による開会点鐘、ホストの東京町田スマイリングクラブの為我井会長の歓迎挨拶、続いてワイズソング、聖句朗読・祈祷、ゲスト・ビジター紹介をして、ゲストスピーカー3名から下記のお話をうかがいました。

*「絆を深める時」 大久保東日本区理事
*「アフターコロナと YMCA」 菅谷東京 YMCA 総主事

*「国際協会/アジア太平洋地域の現況と新しい取り組み」 田中元アジア太平洋地域会長

続いて、加藤直前部長から、2020-2021 年度部長表彰と CS 事業表彰の発表が行われました。松香部長による挨拶にて第1部を終了しました。

参加者全員の記念撮影の後、休憩に入りました。第2部は「交流と親睦」として、冒頭東新部初代部長の持田さん(東京)の乾杯の音頭に合わせて、参加者は Zoom 上で好きな飲み物で乾杯しました。

「音楽のひととき」では、次の方々が演奏を披露されました。

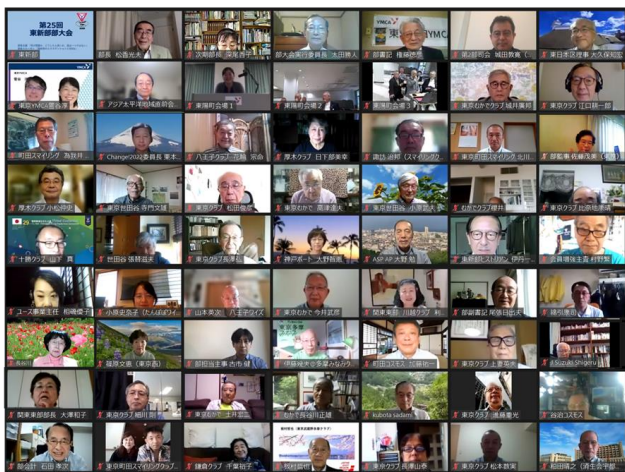
*ヨーデル歌手・小山義和さんによる「アルペンホルン演奏とヨーデル」

*伊藤のオカリナと竹野美歩さんのピアノによる「もののけ姫」と「見上げてごらん夜の星を」

*竹野美歩・小松仲史(厚木)・武田夏也のトリオによる「祈り-The Prayer」と「You Raise Me Up」の2曲を演奏しました。

演奏後、東新部各クラブ会長から「一言を添えて参加者のご紹介」、続いてアピールタイムとなりました。閉会の挨拶は次期東新部部長の深尾さん、実行委員長の太田さんからお礼のことば、東新部の歌を歌い、松香部長の閉会点鐘で17:15に終了しました。

今年度は、東京多摩みなみ・東京町田コスモス・東京町田スマイリングの「3クラブ協働」を目標のひとつに掲げています。部大会ではその目標がある程度実現できたのではないのでしょうか。(伊藤記)



第1回プランター講座の報告

9/28(火)、当クラブが主催している Zoom オンライン講座「第3回プランター講座」の第1回目が予定通り開催されました。他クラブの仲間やその友人が中心となって参加いただいています。登録参加者数は30名で、今回から聴講参加も新たに設けました。前回に続き私が進行役を務め、都合26名が Zoom 画面に登場してくれました。遠くは、北海道部の十勝クラブをはじめあずさ部の長野クラブ、静岡県三島市、沼津市、下田市からも参加してくれました。お互いにリモートからの参加で、画面を通じた新しい交流の場として画面いっぱい笑顔が広がりました。Zoom ならではの、場所に捉われないリアルなコミュニケーションの一形態として益々広く認知される時が来るのではと感じました。

今回は、ミニ大根とミニ白菜を中心とした栽培方法についてクラブメンバーでもある藤田智講師(NHKE テレの野菜の時間の担当講師=下写真)の笑いあふれるトークの中で楽しく拝聴できました。



30分の講演が終わり、参加者と藤田講師との即興的な Q&A では、結構盛り上がり、活発な質疑応答と時々爆笑する場面もあり、楽しいひと時となりました。前回からの継続参加者だけでなく今回初参加の方々も加わり一緒になって楽しんでいる様子が、画面越しに伝わってきました。気がつけば、あっという間に1時間20分が経過していました。開始前に Zoom の入室情報に原因不明の一部不具合が確認され緊張が走りましたが、田中博之さんのお陰で大した混乱もなく大事に至らずに済み胸をなでおろしました。(石田記)



第1回プランター講座にご出席のみなさん

第1回ワイズナイト・フォーラム開催

9月19日(日)の20時から東日本区 Change! 2022 推進委員会が主催する第1回ワイズ・ナイトフォーラムが Zoom オンライン方式で開催され、推進委員として石田が総合司会を務めました。北は、北海道から多くのワイズ関係者とワイズ以外の参加者 15 名を含め 60 人を超える参加者が、ZOOM の画面に登場してくれました。第一部は、NHK E テレの「やさしい時間」の講師でお馴染みの我がクラブの藤田智さんの卓話で始まりました。



コロナ禍の中で密かなブームとなっている家庭菜園を題材に、その人気の背景、自然とのふれあい、心の癒し、野菜作りを通してのコミュニケーションの大切さ、親子で野菜を育てる喜び、ご自身が関わってきたプランター講座での参加者の反応の変化等を分かりやすく語っていただき、その思いがリアルに伝わったのではないのでしょうか。「大地を耕すことは、人の心を耕すことである。」というクロージングの言葉が印象的でした。



第2部は、東京ベイサイドクラブが、2018年～2019年にわたり実施してきた「カンボジアに園児服を送る活動」をテーマにパネルディスカッションが行われました。思い出の園児服が、貧困にあえぐ現地カンボジアの子供たちの笑顔を作り出す。そんな活動の一端を披露していただきました。また、その流れの中で、古着を送る運動についても触れられ、第一部のプランター講座で実践してきたボランティアマインド、運営経費のファンドレイジング(参加費)、そこから生み出された資金を困っている人を支える活動を地道に行っている地域の慈善団体(法人)に寄付をする活動と脈絡は同じだと感じました。この二つに通底するものは、プランター講座への参加費の一部が、社

会貢献に役立っていると言うフレームワークです。家庭菜園を楽しみながら気がつけば、自分もボランティア活動に参加している。社会貢献活動につながっている。そんなワイズのボランティア活動が、身近に存在していることを知っていただけたのではないかと思います。

第3部は、一般参加のみなさんによるフリートーキングを予定していましたが、大勢の中でのフリートーキングとなったため本音で語っていただく工夫が必要でした。委員会の中でもっと当事者意識を持った事前準備やフリートーキングの運営方法についての突っ込んだ話し合い、誘導の仕方への工夫について重点的に準備すべきだったと悔やまれます。本日のフォーラムに参加した印象や日頃の思いを上手く引き出したり、伸び伸びと語っていただく配慮が必要だったと残念に思っています。次回以降は、推進委員会の中でしっかり問題点を整理し、詰め、スムーズな運営方法に万全を期してまいります。(石田記)

9.29 ぽんぽこ農園便り

実りの秋を迎え、我がぽんぽこ農園の野菜たちは、益々存在感を主張し里芋、サツマイモは、収穫の 때가近づき、立派に育った姿を見ると頼もしくさえ感じます。あんなにか弱かったサツマイモは、しっかり根付き、でも苗が足りなくて、分枝して再度苗を鉢で増やし、10日ほど遅れて追加で植え付けた苗も遅ればせながらちゃんと逞しく育っています。一方、里芋は、すくすくと育ち、茎は太く、葉っぱは、目一杯広がり、お日様の恩恵をたっぷり受けて球根に栄養を届けてくれています。親芋から子芋、孫芋が房の様に沢山ぶら下がる光景が目に見えるようです。収穫後には、緊急事態宣言も解除され、地域の秋祭りやイベント会場、そして地域のボランティア活動の場に姿を見せる機会が復活するかも知れません。先々の楽しみが広がります。早くそんな日が来ることを勝手に描いています。(石田記)



手前がサツマイモ、奥が里芋

国際協会・アジア太平洋地域ニュース

「2022年に向けて」(今月の強調月間テーマ)

- 「2022年に向けて」とは、国際協会創立100周年において私たちが目指す姿(「ビジョン2022」)を達成するための目標を掲げたものです。
- 「2022年に向けて」の、より具体的な行動の計画として、「チャレンジ22」が制定され、世界中のワイズがこれに沿って取り組みを行っています。東日本区の「Change!2022」もその一環です。
- 「2022年に向けて」他の詳細については、理事通信10月号に解説記事を寄稿いたしましたので、ぜひご覧ください。

「100日間会員増強キャンペーン」

- 9月1日から12月9日までの100日間は、国際協会を挙げて会員増強に集中的に取り組むキャンペーンの期間で、今年度で3年目になります。
- 会員増強は、年間を通じて取り組むべき重要な課題ですが、特にこの期間に、世界的に各種施策を実施することで、他の地域や区や国とも連携、励ましあって、メリハリのある活動を行うことが期待されています。
- 今年は、世界中で、この期間に、入会候補者に対する「オープンハウス」の開催が奨励されていて、東日本区の「ワイズ・ナイトフォーラム」もこのひとつです。

(田中記)

これからの予定、連絡など

*今年度は「ハンドブック&ロースター(会員名簿)」の頒布はありませんが、印刷版を希望される方には1冊700円で注文可能です。希望者は伊藤まで。

*10/11(月)10月第2例会 19:00～ Zoom

*10/12(火)第2回プランター講座 19:00～ Zoom

*10/16(土)3クラブ合同例会 18:30～20:30 Zoom

*10/24(土)第2回ワイズ・ナイトフォーラム
20:00～ Zoom

*10/26(火)第3回プランター講座 19:00～ Zoom

*10/30(土)部長パワーアップ・ワークショップ

*11/2(火)11月例会 19:00～ Zoom

*11/6(土)第2回区役員会

*11/8(月)11月第2例会 19:00～ Zoom

*11/9(火)第4回プランター講座 19:00～ Zoom

*11/10(水)ワイズデー

(伊藤記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつもYMCAへのご協力に感謝いたします。

◆東京YMCA キャンプ関連

今夏予定をしていた宿泊を伴うキャンプは緊急事態宣言の発令を受けて中止としましたが、代わりに5つのデイキャンプを無事に実施しました。夏期水泳教室や語学クラスも感染防止対策をしながら予定通り行い、合計1,328人の子どもたちが夏プログラムに参加することができました。家族を対象とした「秋の山中湖キャンプ」を10月9日～10日に山中湖センターで開催する予定です。

◆フレンドシップファンド使途報告

経済的な理由でYMCAのプログラムに参加できない子どもたちの参加費を補助する「フレンドシップファンド」から、今夏は計272,855円を支出し、9人の夏プログラム参加費を補助することができました。

◆今後の主な行事日程

・「東京YMCA 高等学院を支えるためのチャリティーコンサート」 10月15日

会場：日本基督教団霊南坂教会

出演：飯靖子(オルガン)・飯頭(ヴィオラ)・高等学院生徒有志

・「第35回インターナショナル・チャリティーラン」(スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催)

個人参加：10月16日～22日

チーム参加：10月23日～31日

・「YMCA・YWCA 合同祈祷週礼拝」11月11日

会場：東京YWCA カフマンホール

説教：渡辺俊彦牧師(上馬キリスト教会)

(オンライン参加も可)

◆他YMCAの動き

・熊本YMCA 総主事就任式 9月18日(オンライン)
神保勝己氏(8月4日召天)に替わり、光永尚生氏が総主事に就任

・千葉YMCA50周年記念会 11月6日

会場：こひつじ幼稚園ホール

・「東日本地区YMCA 役員研修会」11月23日(オンライン)

テーマ：「YMCAにおける公民連携事業について」

編集後記

10月になり、コロナ緊急事態宣言も解除されました。気候もすっかり秋らしくなり、行楽シーズンたけなわと言いたいところですが、コロナ感染への注意は油断禁物です。目指せChange!2022!(I.I)

連絡先：〒192-0023 八王子市久保山町1-9-3-807 田中博之(クラブ書記) (携帯)090-9823-6387

例会日：本例会 第1火曜日 19:00～20:30 会場：ベルブ永山(当面Zoom) 多摩市永山1-5 TEL 042-337-6111

第2例会(役員会) 第2月曜日 19:00～20:30 会場：ベルブ永山(当面Zoom)

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ